

ベルマーク新聞 7月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <http://www.bellmark.or.jp/>

地元・富山で全国1位の表彰式

射水市立大島小学校、ショウワノートのキャンペーン



協賛会社のショウワノート（ベルマーク番号53）が実施していた「第45回ショウワノートベルマークキャンペーン」の全国1位表彰式が富山県射水市立大島小学校（宮内茂夫校長、児童666人）で行われました。体育館に全校児童が集まり、先生方や関係者が見守る中、表彰状と記念品の図鑑や絵本、ノートなどが授与されました。さらに、地元のケーブルテレビも取材に駆けつけ、盛大な式となりました。

このキャンペーンは、「ジャポニカ学習帳」や「ポケットモンスター学習帳シリーズ」「ドラえもん学習帳シリーズ」などについているショウワノートのベルマークを1年間でどれだけ集めたかを集計し、上位校を表彰するものです。今回、全国1位に輝いた大島小学校は10,870点のマークを集めました。

式の冒頭、同社の中条（ちゅうじょう）宏志社長は「ショウワノートの本社と工場は高岡市にあり、今回同じ富山県の小学校が1位に選ばれて、これ以上嬉しいことはありません」と喜びを表しました。同時に、国内では近年多くの災害が起きている現状を話し、「自分たち

の備品を買うだけでなく、皆さんが集めたベルマークは被災校の役にも立っています」とベルマーク運動の意義も伝えました。

中条社長から、ボランティアグループ「収集の仲間」代表・前田登美子さんに



表彰状が、ボランティア委員会・副委員長で6年生の石野詩依奈（しいな）さんに記念品が手渡されました。

児童代表として挨拶をしたボランティア委員長で6年生の堀尾心愛（ここあ）さんは「全校のみんな、家族、収集の仲間の皆さんに感謝しています」と述べました。表彰式後の懇親会では、「ムーミン」や「ミッフィー」などの世界の名作が「ジャポニカ学習帳」とコラボしたノートや、180度水平に開く「水平開きノート」などが紹介されました。

大島小学校は、地域のボランティアの皆さんと児童とが交流する「地域の先生とのふれあい」活動を授業に取り入れています。手話やサッカー、合唱など多彩なメニューの中にあるのが、ベルマークと古い切手の仕分けです。「収集の仲間」の9名が、児童と一緒に会社別に仕分けします。毎回約40～50人の児童が集まるそうです。その後の細かな仕分けと発送も「収集の仲間」の担当です。

代表の前田さんは「会社員時代からベルマークを集めていました。集めるのが好きなんです」とのことで、他のメンバーも前田さんが誘ったそうです。皆さん、これからも末永くよろしくお願いいたします。

ショウワノートは現在、第46回のキャンペーンを開催中です。2019年1月1日～12月31日の間にベルマーク財団で検収されたマークが対象で、エントリーは必要ありません。ショウワノートのHPからは集めたマークを貼る台紙がダウンロード出来ます。A4版1枚で100枚貼れるカラフルで可愛い台紙です。ぜひご活用の上、たくさんのマークを集めてください。



⑤記念撮影。中央はショウワノートの中条宏志社長
④児童代表、堀尾心愛さんの言葉
③体育館に集まった全校児童



2019年度説明会、全国95か所を終了

5～6月、1万2千人余が参加

ベルマーク運動説明会は、6月21日の宮崎・延岡会場を最後に、全国95か所での開催を終えました。10連休が明けた5月7日、福岡・広島会場から説明会は始まり、翌8日からは新宿など首都圏での開催もスタートしました。5月末からは列島は順次、梅雨入りしましたが、雨天にもかかわらずお集まりいただいた参加団体みなさまに感謝いたします。

各会場で、具体的な運動の体験をPTAのみなさんに発表していただきました。どうやったら、より負担少なく、効率良く、そして楽しく、ベルマークを集めて、子ども

たちを笑顔にできるのか。そこにはさまざまな工夫が込められています。財団のHP「集めてます→PTAの発表」で、そのエッセンスに触れることができます。ぜひお読みください。

説明会で上映した動画「未来を育むベルマーク」は、HPからもフルで見ることができます。DVD貸し出しも通年で受け付け中。他にベルマーク運動について知りたいことや問い合わせがあれば、いつでも気軽に財団にご相談ください。それでは1年間、よろしくおねがいいたします。

